

サステナビリティ／CSR特講 March2022 実務のポイント解説

# 第三者保証を提供する側が考えていること

お問い合わせ先：[tfukushima@SusA.co.jp](mailto:tfukushima@SusA.co.jp)

2022年3月28日  
(株)サステナビリティ会計事務所  
サスティービー・コミュニケーションズ(株)  
代表取締役 福島隆史

## ■ ここでしか聴けない・・・

✓ 最新トピック・世界潮流



現場実務の最前線

✓ 舞台観賞にて楽しく本質理解！

# 現場実務の最前線における、お話の前提

企業取り組みの下支えをしている経験からの共通項についてお話しします。  
決して特定企業のお話しではありません。

お客さま企業 約70社・グループ



SusA



グローバル企業グループの皆さまからご紹介などによりご指名をうけ、  
コンサルティングや保証サービスを展開しています。

- ✓ サステナビリティ経営現状分析・中期ロードマップ策定
- ✓ 外部評価向上支援
- ✓ レポート企画・コンテンツ決め支援
- ...
- ✓ GHG排出量保証 etc

# 集計精度向上が求められるようになってきたScope3の知識前提から・・・

Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)

Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

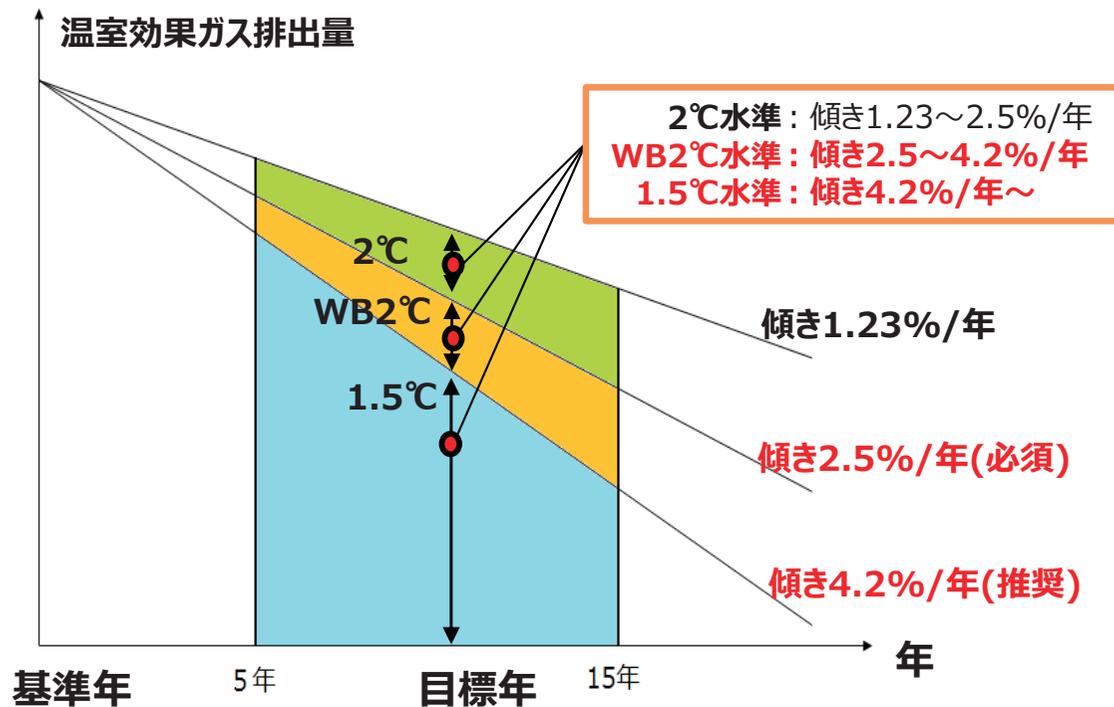
Scope3：Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)



Scope3の、社会全体でのダブルカウント、トリプルカウントは自明

# 客先からの注目度が格段にあがってる要因

- パリ協定が求める水準と整合した**温室効果ガス排出削減目標**のこと。
- (2022年3月18日時点) 日本企業でのターゲットセット認定企業164社



## 【新基準への移行公表】

2022年7月以降の目標セットは、1.5°C目標(GHG4.2%削減/年)でなければ受付しない。

目標年	公式提出時から5年以上先、15年以内の目標
基準年	最新のデータが得られる年で設定することを推奨
対象範囲	サプライチェーン排出量(Scope1+2+3)。ただしScope3がScope1~3の合計の40%を超える場合には、Scope3の目標設定が必要

# バリューチェーン 客先からのESG評価



顧客から過去、要請がないので、CO2削減意識が浸透しておらず、集計すらしていない。

顧客



価格	品質	環境
○	○	×



これが原因で、たとえ数%でも失注したなら・・・。

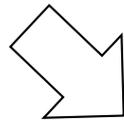
経営会議で、バリューチェーン上流へのCO2削減を促す方針を決定

## 第三者保証が今、必要とされてきた背景・理由

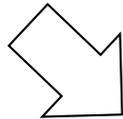
---

### 1. 各種のESG評価で得点アップしたい！

- 客先からの注目度などが格段にアップ！

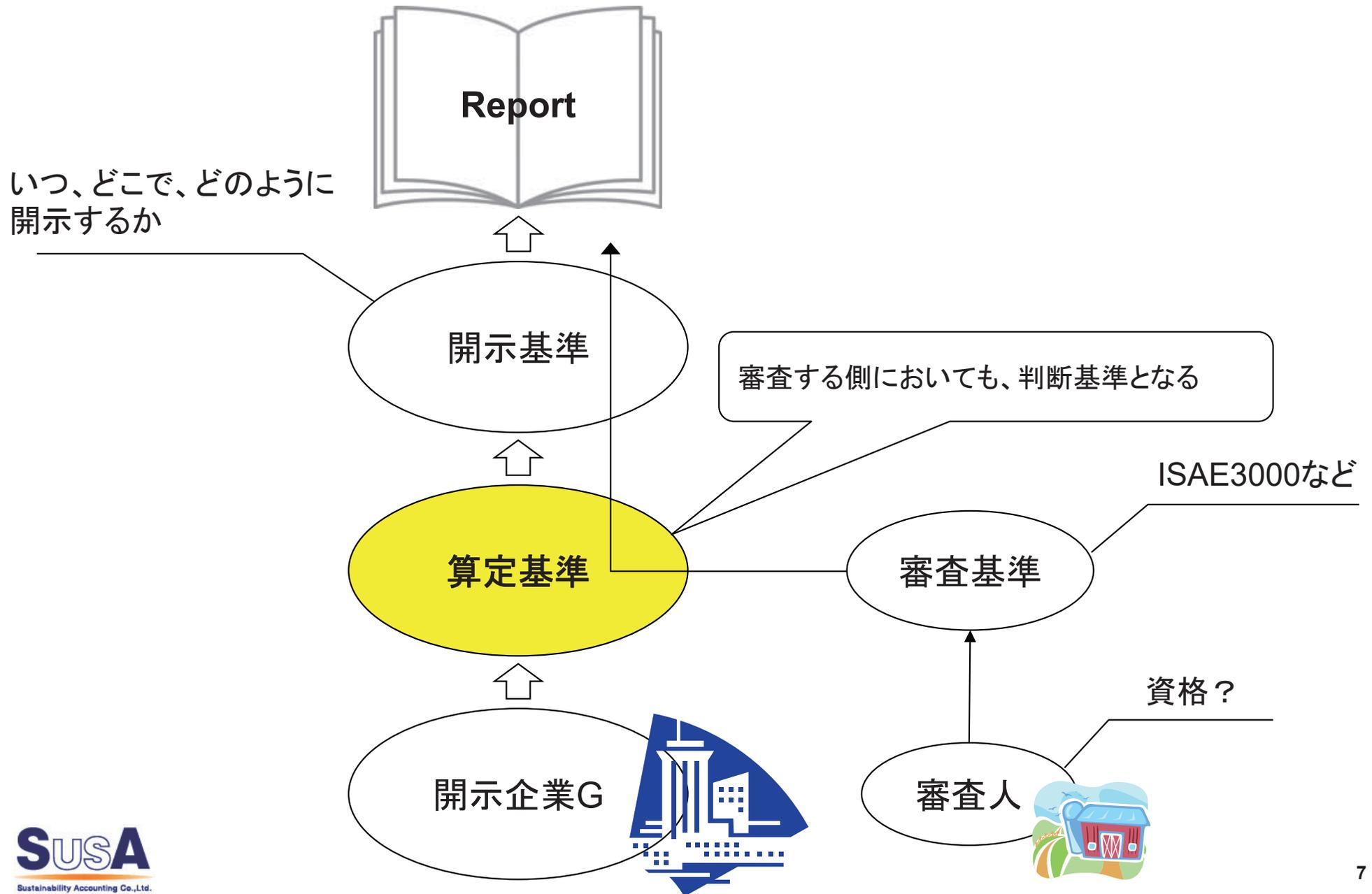


### 2. より正しい数値を開示したい！

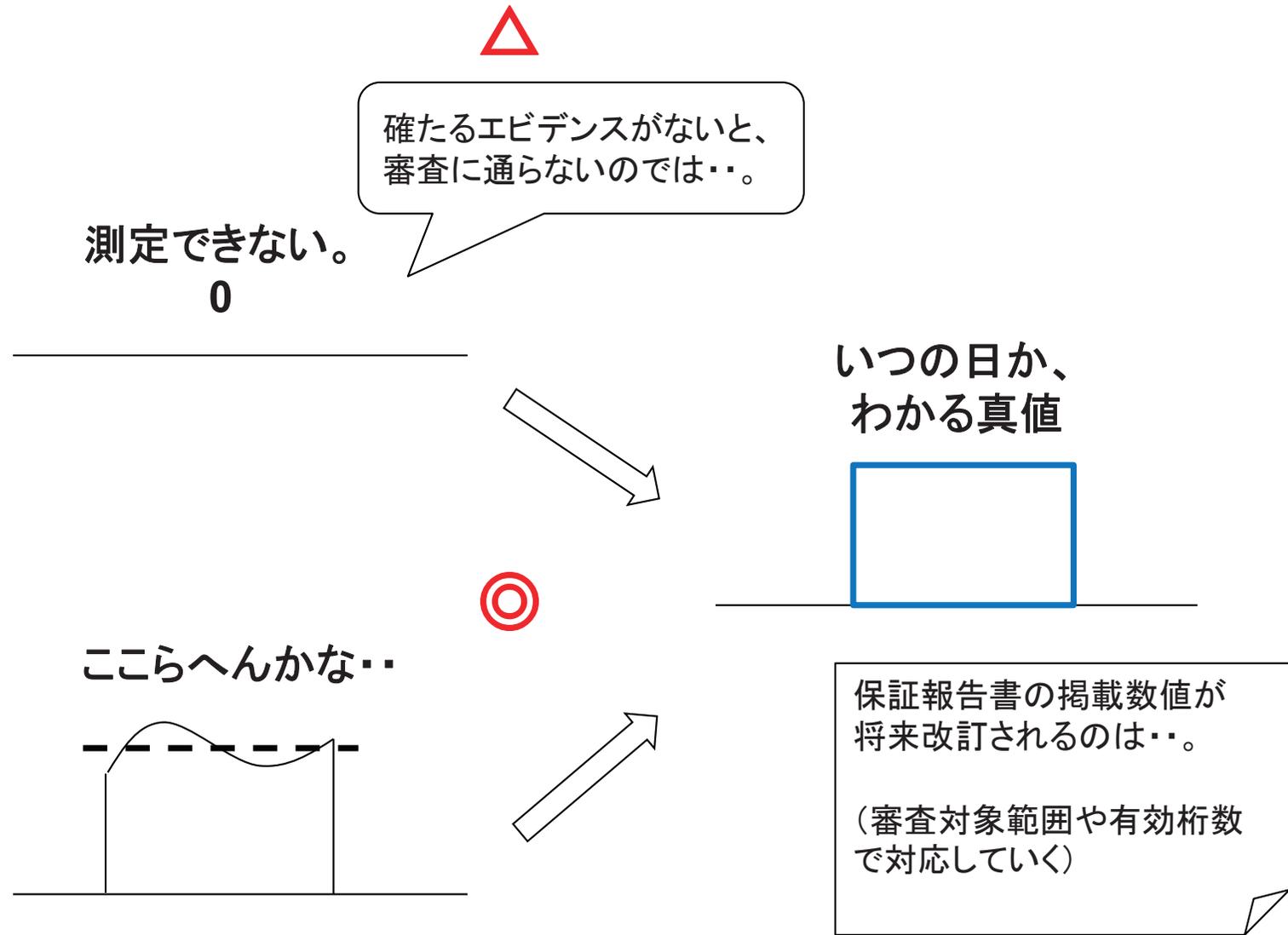


- よくわかってる人・機関のチェック・アドバイスを受けたい。

# 第三者保証の全体像を考えるにあたって



# (本日講義のメインテーマ)保証を提供する側が考えていること



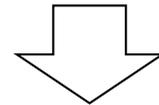
もちろん、あまりにも適当な推定もダメ。  
どうすれば、妥当な推定ができるか・・・



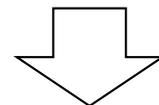
# Scope3どころか、Scope1,2しっかり測定できているのかな？ その1



もし、メーターがなかったら・・・  
オーナーからの請求明細になかったら(家賃に含む)・・・

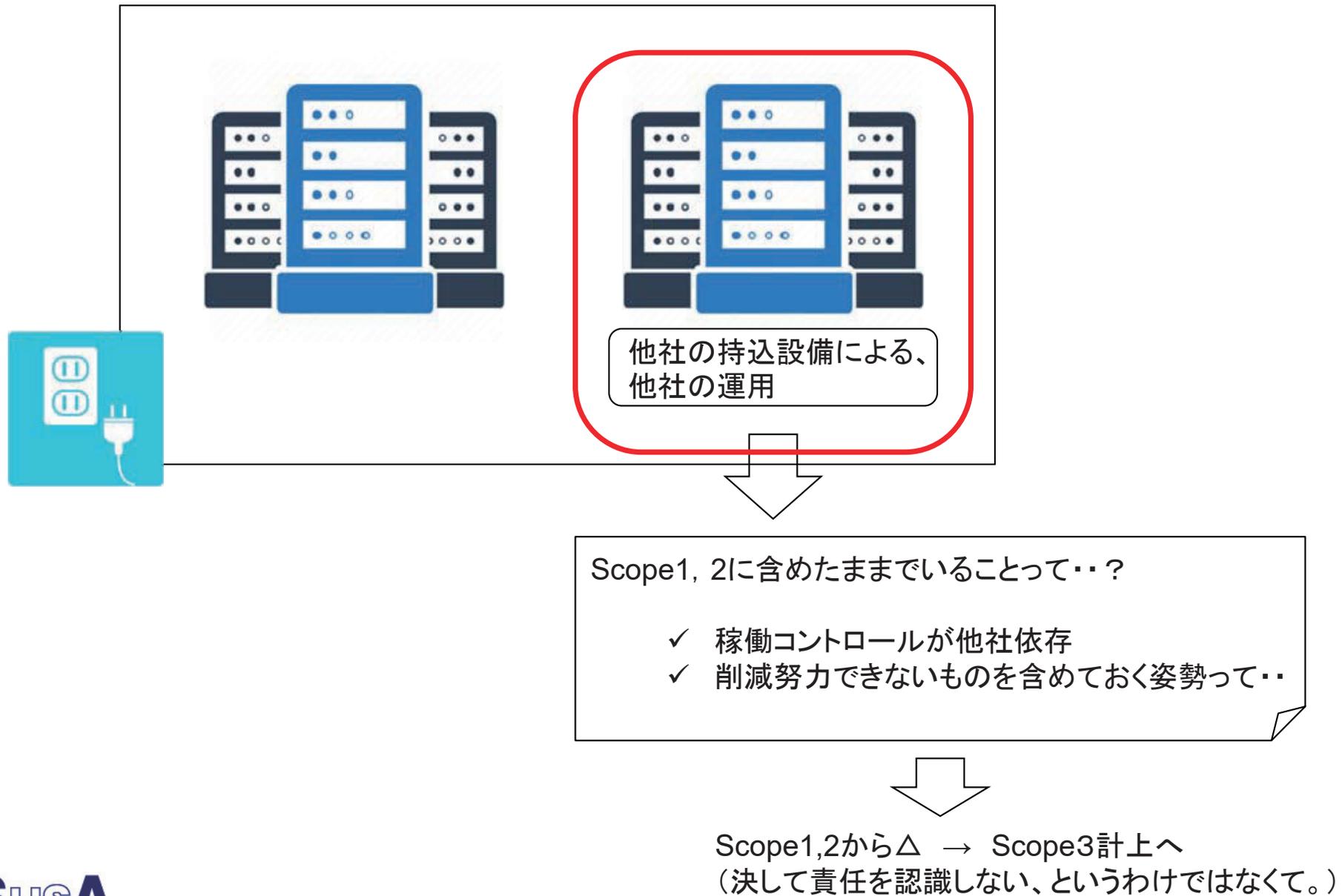


- ✓ 計上していないことがほとんど。でも・・・
  - ✓ メーターが設置されたとき。
  - ✓ 請求がくるビルに引っ越したとき。



たとえば、0.06t-CO<sub>2</sub>/m<sup>2</sup>年で計算しておく、とか。

## Scope3どころか、Scope1,2しっかり測定できているのかな？ その2



# Scope3どころか、Scope1,2しっかり測定できているのかな？ その3

## Aビル



オーナー電力量  
A100

テナント電力量  
A200

オーナーがカーボンゼロ電力調達  
G300 (G100 + G200)

### オーナー側の計算

#### パターン1

$$\text{Scope2 } A100 + B400 - G300 = 200$$

$$\text{Scope3 } A200$$

#### パターン2

$$\text{Scope2 } A100 - G100 + B400 = 400$$

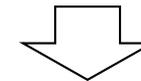
$$\text{Scope3 } A200 - G200 = 0$$



## Bビル



オーナー電力量  
B400

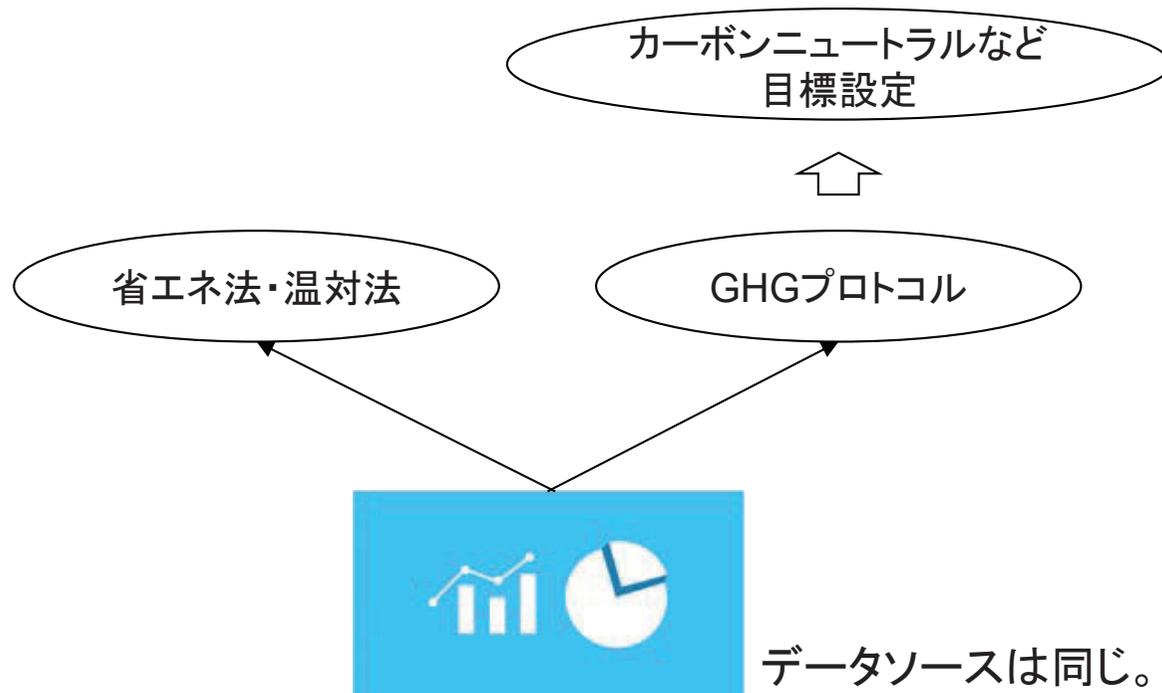


Aビルテナントにコスト賦課しているならば。

→そもそもテナントにコスト賦課するのがよいのでは。

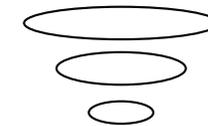
→仮に、コスト賦課できていないとしても・・・。

# さまざまな基準で集計できることも、企業に求められる能力



## 差異認識

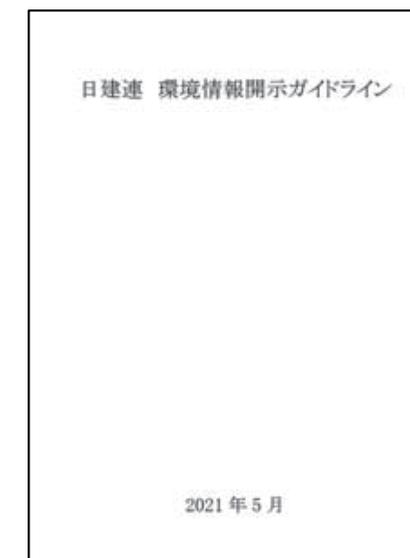
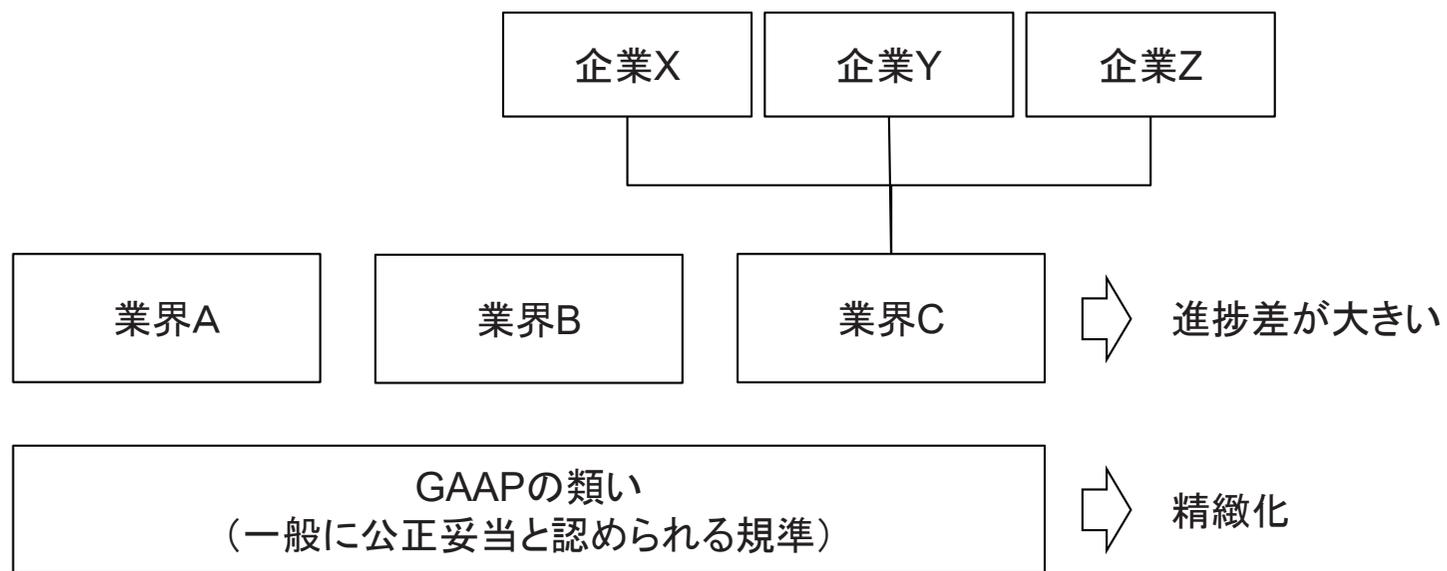
- ✓ Scope3概念の有無
- ✓ 他者との責任境界
- ✓ 使用係数



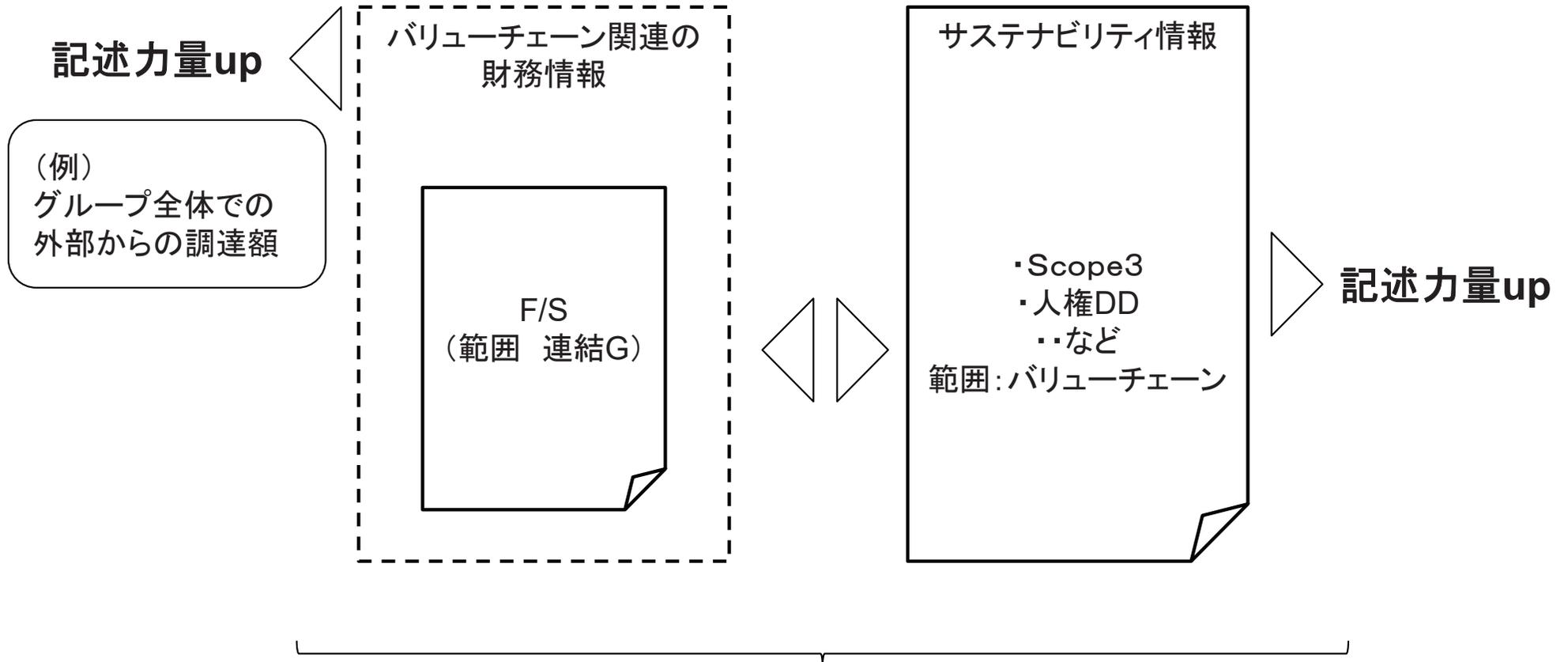
会計の世界でも、GAAP会計、税務会計などがあるように…。  
(二重帳簿を作ろう、という話ではない。)

なお、会計の世界でも推測要素は大きく組み込まれています。

# 業界ごとに算定基準をそろえていく努力を



# 企業ごとの統合報告では、バリューチェーン関連性の強化を！



読み解く力量↑ → 審査する側にも、強く求められる。

# 第三者保証 SusA 2021実績

## 実績

### アシュアランス事業

#### 独立第三者の保証 実績（アイウエオ順）

- ▶ 株式会社アマダ
- ▶ アンリツ株式会社
- ▶ 石塚硝子株式会社
- ▶ EIZO株式会社
- ▶ 株式会社NTTドコモ
- ▶ オイレス工業株式会社
- ▶ JFEホールディングス株式会社
- ▶ 住友生命保険相互会社
- ▶ 高砂熱学工業株式会社
- ▶ TANAKAホールディングス株式会社
- ▶ 株式会社ダイセル
- ▶ 株式会社ダスキン
- ▶ 株式会社ディー・エム・シー
- ▶ 戸田建設株式会社
- ▶ 西松建設株式会社
- ▶ 日本精工株式会社
- ▶ 日本生命保険相互会社
- ▶ 日本電信電話株式会社
- ▶ 東日本電信電話株式会社
- ▶ プラス株式会社
- ▶ 株式会社村田製作所
- ▶ 株式会社UACJ
- ▶ 株式会社ヨコオ
- ▶ リコーリース株式会社
- 投資法人
- ▶ アクティピア・プロパティーズ投資法人

# サステナビリティ／CSR補講 webサイトご紹介

ID : susaspecial  
PASS : mangookapi

ID : susamovie  
PASS : cloverpig

